

関連講演会

御三卿田安德川家を知る

田安德川家ご出身の松方冬子氏をお招きしてご講演いただきます。
また、当館館長を交えたトークセッションを通じ、田安德川家の歴史とその姿に迫ります。

講 師	日 時
松方 冬子氏 東京大学史料編纂所教授	令和8年2月7日(土)13:30～16:00(開場12:30)
講 師	会 場
大石 学 静岡市歴史博物館長 徳川みらい学会理事	葵生涯学習センター(アイセル21) 1階ホール (静岡市葵区東草深町)
	定 員
	どなたでも200人(無料・全席自由)
	申 込
	1月10日(土)10:00～ 静岡市歴史博物館ホームページ申込フォームで先行受付 1月16日(金)10:00～ 静岡市歴史博物館(054-204-1005)で電話受付(申込順)
	共 催
	徳川みらい学会、静岡市葵生涯学習センター

トークイベント

わかりやすい歴史・地域のおはなし

参加無料・申込不要 会場/静岡市歴史博物館 1階市民活動スペース

御三卿田安德川家、歴代当主のおはなし

1月25日(日)13:30～14:30 講師 当館学芸員
展示中の田安德川家伝来資料から読み取れることを中心に、歴代当主の事績や文化活動についてお話しするとともに、展示の見どころも紹介します。

御三家と御三卿 徳川将軍家と一門のはなし

1月31日(土)13:30～14:30 講師 当館学芸員
家康の子どもたちによってつくられた「御三家」と、徳川将軍家をつないでいくためにつくられた「御三卿」。それぞれの家が成立した背景と役割を紹介します。

一橋徳川家文書からみる田安德川家

2月11日(水・祝)13:30～15:00 講師 武子 裕美氏(茨城県立歴史館 主任学芸員)
一橋徳川家と田安德川家は、8代将軍徳川吉宗によって将軍家を支える家として設けられました。一橋徳川家に残された古文書等から、一橋徳川家から田安德川家へ養子に果たした3代当主の寄与や、のちに静岡藩主となる家達について紹介します。

田安德川家の文化

2月28日(土)13:30～14:30 講師 当館学芸員
初代宗武以来、学問や文芸に優れた家として知られた田安德川家。その文化活動について田安德川家の初代当主宗武と3代当主寄匡を中心にお話します。

学芸員と行く! 田安德川家出身 徳川家達と静岡のつながりを探る旅

明治維新期に静岡藩主となった徳川家達は、田安德川家の出身でした。学芸員の案内でゆかりの地を巡ります。

日 時	2月21日(土) ①9:30～11:00 ②14:00～15:30	集 合	静岡市歴史博物館 1階 講座室
	(集合時間 ①9:15 ②13:45)	解 散	西草深公園(静岡市葵区西草深町)
対 象	各回30人(どなたでも、小学生以下は保護者同伴)	申 込	1月24日(土)10:00より電話受付(申込順)

学芸員ギャラリートーク(予約不要・要企画展観覧券)

企画展示室で担当学芸員による展示紹介を行います。(15分程度)

●1月24日(土) 16:30/17:30 ●2月28日(土) 16:30

静岡市
歴史博物館
おすすめ!

～ おまち道中案内MAP ～

博物館への道



YouTube
静岡市
歴史博物館への道を
YouTubeで紹介!

1月24日(土)・25日(日)に企画展をご覧いただいた
各日先着100名様

博物館オリジナルノベルティプレゼント!

3階展示室入口にて
配布します

歴史博物館への交通アクセス

JRをご利用の場合 JR静岡駅下車、北口から
●徒歩15分、タクシーで約10分
●しずてつジャストラインバス
「県庁・静岡市役所葵区役所前」下車 徒歩6分
静岡鉄道をご利用の場合
●「新静岡駅」から徒歩8分
富士山静岡空港をご利用の場合
●空港からしずてつジャストラインバス
富士山静岡空港静岡線「新静岡」下車 徒歩8分
お車で越えの場合
●東名静岡ICから約20分
※隣接及び近隣の有料駐車場をご利用ください。

	観覧料	個人	団体 (20人以上)
基本企画展示	一般 高校生・大学生・静岡市居住70歳以上 小中学生	750円 520円 180円	600円 410円 150円
3階基本企画展示	一般 高校生・大学生・静岡市居住70歳以上 小中学生	650円 450円 150円	— — —
企画展のみ	一般 高校生・大学生・静岡市居住70歳以上 小中学生	150円 100円 30円	120円 80円 30円
	静岡市内居住・通学の小中学生	—	無料

※障害者手帳をお持ちの方、指定難病・小児慢性の方とその介助者1人無料。(要提示)
※一般の方以外は学生証等をお持ちください。

① 葵紋長棒(部分)(個人蔵 当館寄託) ② 田安德川宗武筆 和歌短冊(個人蔵 当館寄託) ③ 田安德川寄匡筆 「花鳥図」(牡丹孔雀図)(部分)(個人蔵 当館寄託)

開館時間

9時～18時(展示室への入場は閉館30分前まで)

休 館 日

月曜日(国民の祝日・休日の場合は開館、翌平日休館)
※2月2日(月)、2月16日(月)は臨時開館

ミュージアムショップ・カフェ(1階 無料エリア)



ミュージアムショップでは、企画展図録やオリジナルグッズ、地元企業とコラボした商品等を販売しています。併設のカフェでは、コーヒーや抹茶シェイクのほか、軽食もお楽しみいただけます。



静岡市歴史博物館
Shizuoka City Museum of History

ホームページ: <https://scmh.jp> 電話: 054-204-1005
静岡県静岡市葵区追手町4番16号 FAX: 054-204-7373
指定管理者 公益財団法人静岡市文化振興財団



田安德川家 徳川御三卿

静岡藩主家達の生家

2026
1/24 土
3/8 日

会 場 静岡市歴史博物館 3階企画展示室
開館時間 9時～18時(展示室入場は閉館30分前まで)



静岡市歴史博物館
Shizuoka City Museum of History



③

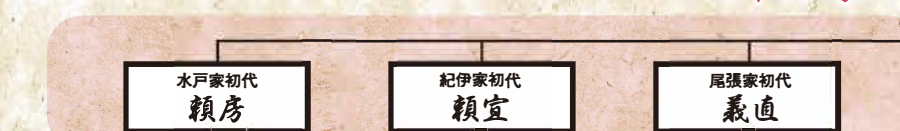
江戸城内の御三卿の屋敷図

御三卿の屋敷は、江戸城（現在の皇居）の北側にある門内にありました。

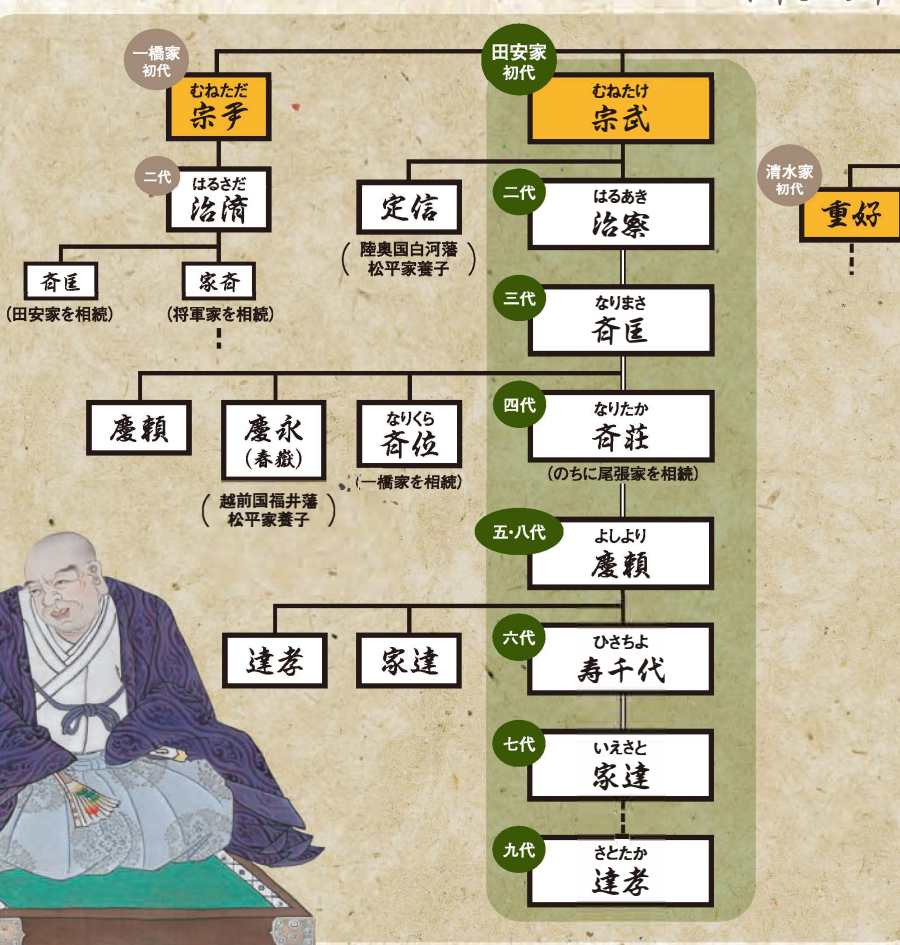


田安德川家関係家系図

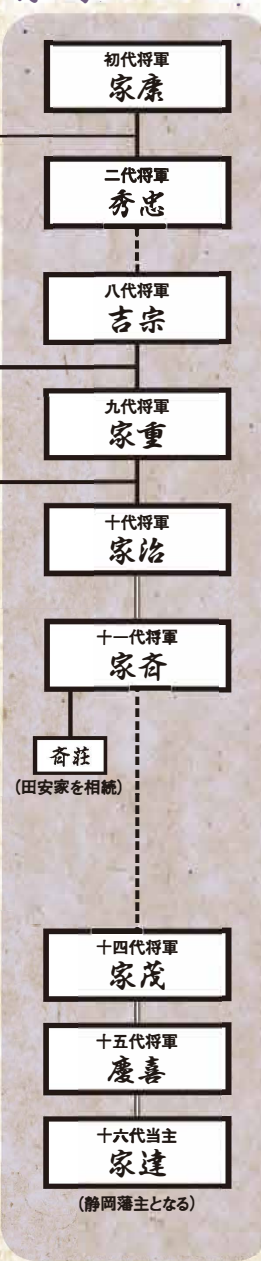
御三家



御三卿



宗家(将軍家)



序章

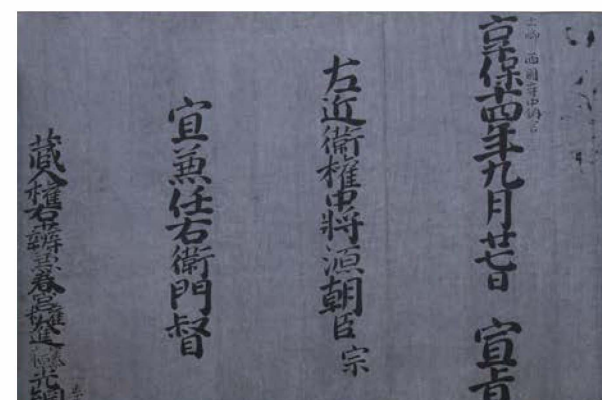
成立 — 田安門の徳川家

田安德川家の歴史は、8代将軍吉宗の時代に始まります。吉宗の次男の宗武は享保14(1729)年に元服し、享保16(1731)年には江戸城田安門内の屋敷と領地を与えられました。屋敷の位置から、宗武を初代とする家は田安德川家と呼称されるようになります。

第1章

継承される家名と品格

田安德川家の歴代の当主は、公卿とよばれる「従三位」以上の官位を与えられました。2代当主治察が亡くなると、田安德川家はしばらくの間、当主不在の「明屋形」となりますが、天明7(1787)年には3代当主に一橋徳川家2代治済の子斉匡が、4代当主には11代将軍家斉の子斉荘を迎え入れられるなど、徳川諸家とも関係結びながら徳川将軍家を支える家格と役割は継承されました。



兼右衛門督口宣案(田安德川宗武) (個人蔵 当館寄託)

第2章

田安德川家の奥向と家政

田安德川家にとって、冠婚葬祭や年中行事も徳川将軍家を支える大切な役割でした。婚姻により代々摂関家や宮家との縁戚関係が続けられ、一方で、斉匡が亡くなると、越前国福井藩の松平家の養子となった松平慶永(春嶽)から遺品が返納されており、斉匡の妻の貞子女王が亡くなった際には奥女中や親類縁者へ形見分けが行われるなど、家内における人びとの交流の様子も偲ばれます。

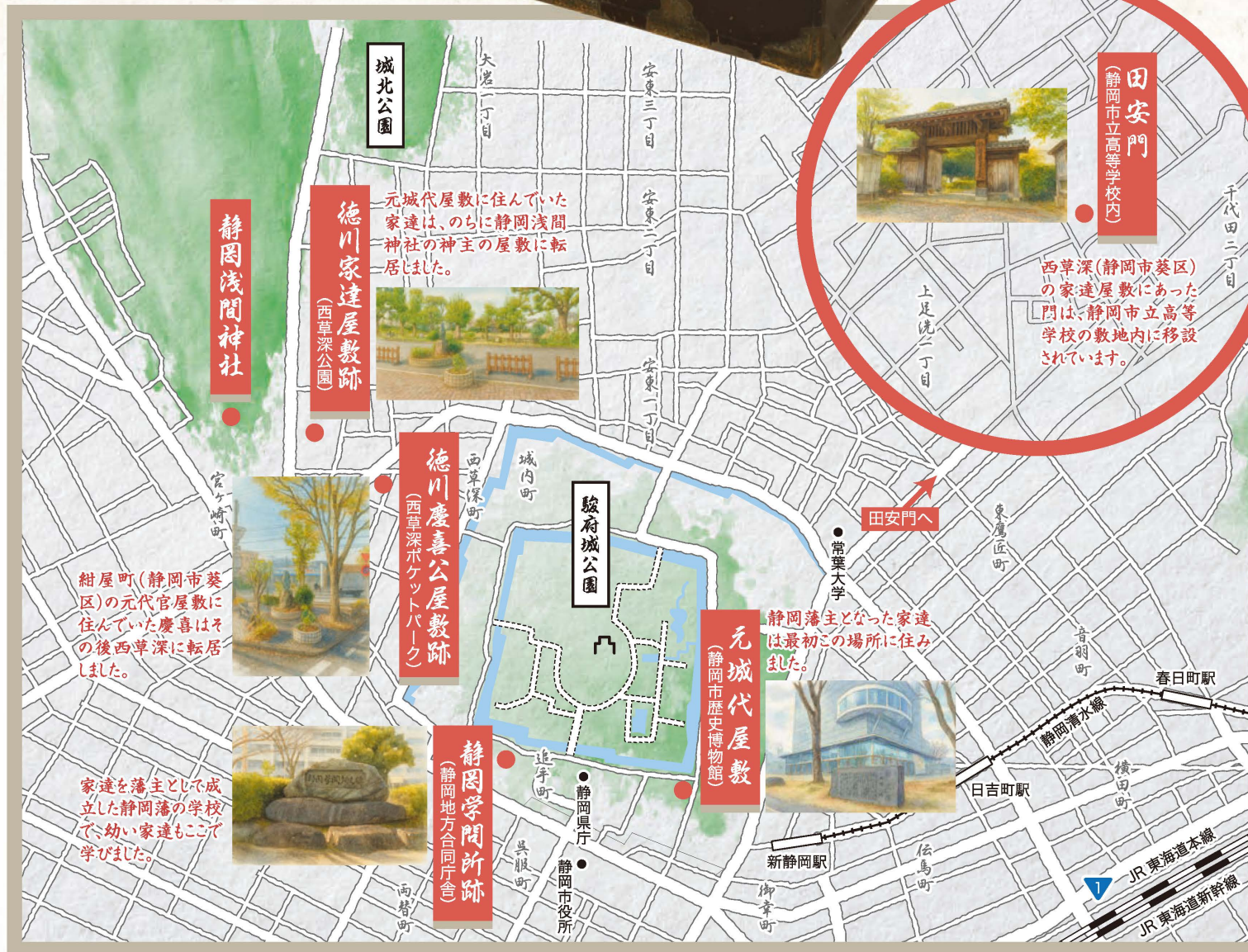


葵紋長神 (個人蔵 当館寄託)

第3章

田安德川家の文化的素養と結ばれた縁

宗武は父吉宗に倣い、幼少より文武・学芸の研鑽を重ねた人物でした。その気風は歴代当主にも受け継がれており、3代斉匡もまた、文化面で多くの功績を残しました。田安德川家には勝海舟などの縁ある人物から贈られた書画も伝わっており、明治時代に旧幕臣の大久保一翁を介して刀剣を有栖川宮へ献上した記録が残されています。



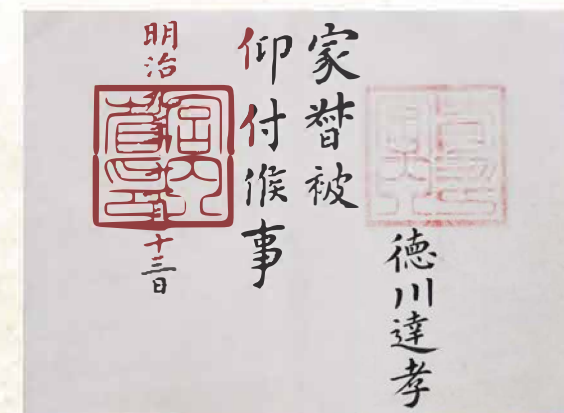
田安德川家書
「花鳥図」(牡丹孔雀図)
(個人蔵 当館寄託)



終章

静岡藩主家達とその後の田安德川家

明治維新期、田安德川家7代当主家達は、徳川宗家へ入り静岡藩主となった後、駿府城三ノ丸の元城代屋敷(現静岡市歴史博物館)と、そこから移って静岡浅間神社神主の屋敷(現西草深公園)に居住し、静岡で幼少期を過ごしました。田安德川家は明治時代以降、爵家として国を支えながら家を守り継ぎ、今日にも継承されています。



徳川達孝家督沙汰書 (個人蔵 当館寄託)